

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 児童デイサービス・アニマート宮崎うりゅうの

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		バリアフリーではないが、マット等で対応。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		アンケートの結果を踏まえ業務改善に繋げる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	5		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月職場内研修を行い、また、外部研修にも参加している。	職員の希望する研修には参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		スタッフが各自活動を提案し日々行っている。また、曜日で固定しないよう動、静様々な活動を組み合わせ行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		日々子供たちの意見を優先し個別活動 集団活動を行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		引き続き、朝礼 昼礼で毎日行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日職員間で情報共有を行い翌日以降の支援に繋げている。	今後も継続して職員間の情報共有を行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		支援記録等を記録し支援の検証 改善に繋げている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		担当者会議後の計画の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理責任者 管理者が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			てんかん発作がある児童がいるためケアはしっかり行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			就学前の保育園や幼稚園の情報に関しては保護者または、相談支援事業所経由で情報を得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		同じ放デイ同士では、交流はあったが、次年度以降は、交流行事を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や連絡帳を通じ事業所での様子やご自宅での様子について情報交換を共有している。	引き続き、連絡帳や送迎時に情報共有を行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		研修等の参加により、専門性の向上に努める。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			送迎時や電話連絡等で行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		年一回保護者会を開き意見交換を行った。	引き続き保護者会を開き意見交換を増やしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			契約の際に苦情体制については説明を行っている。通信を通じて再度お伝えしながら、苦情があった際は迅速な対応を行い、職員にも周知徹底し、改善していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			1か月に一回通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		連絡帳を通じて行っている。	連絡帳の活用はもちろんのこと、必要に応じて保護者の方との連絡により情報共有を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	事業所のイベントには保護者、児童のみ参加。	次年度は外部イベントを計画を行っていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			各マニュアルについて簡素化したものを配布し保護者への周知を行う。職員についても都度研修を通じて周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	月一回防災訓練を行っている。		引き続き、各月で定期訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			引き続き、年4回職場内研修を実施していき、職員の意識の向上に努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			現在、身体拘束を必要とする利用者はいない。必要な事態が生じた場合には、身体拘束の適正化の為の指針に基づき対応を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者からの聞き取りにて対応を行い、個人の状況に応じてきめ細やかに対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			職員間でヒヤリハットの事例を出し合い、共有、支援の見直しに努めていく。